

【発表概要】

2024年 国際アルツハイマー・パーキンソン病学会 (AD/PD™ 2024 International Conference on Alzheimer's and Parkinson's Diseases)

血漿中 p-Tau181 と Aβ42/40 の組み合わせによる脳内アミロイド病理予測

精度の向上

発表者	松本和也 ¹ , 村上駿 ¹ , 石木健吾 ¹ , 山下和人 ¹ , 三浦雅央 ¹ , 岩永茂樹 ² , 佐藤利幸 ¹ , 岩田淳 ³ ¹ シスメックス株式会社 中央研究所 ² シスメックス株式会社 技術戦略本部 ³ 東京都健康長寿医療センター 脳神経内科
発表概要	背景 アルツハイマー病の疾患修飾薬を投与する際には、脳内アミロイド病理の有無を検査する必要がある。脳内アミロイド病理の検査手法として、低侵襲で利便性の高い血液バイオマーカーが注目されている。我々はこれまでに、全自動免疫測定プラットフォーム HISCL™ で測定した血漿中のアミロイドβ (Aβ) 42/40 が、脳内アミロイド病理の判定結果に対して高い予測精度を有することを示した。本研究では、血液バイオマーカーによる脳内アミロイド病理の予測精度向上を目指し、Aβ42/40 と他マーカーとの組み合わせ効果を評価した。今回は、血漿中のリン酸化タウ 181 (p-tau181) を、Aβ42/40 と組み合わせた際の臨床性能を報告する。 方法 血漿中の Aβ42/40 および p-tau181 の測定には、東京都健康長寿医療センターで収集した 25 症例の血漿検体を用いた。各症例の脳内アミロイド病理は、アミロイド PET の読影によって判定した。アミロイド PET の陽性群と陰性群の 2 群間におけるバイオマーカー濃度分布の差は、マン・ホイットニーの U 検定で評価した。また、アミロイド病理の判定結果に対する予測精度は、Receiver Operating Characteristic 解析によって評価した。

	<p>結果</p> <p>測定した Aβ42/40 と p-tau181 の濃度は、いずれも 2 群間で有意な差が認められた (Aβ42/40: p 値<0.005、p-tau181: p 値<0.05) 。また、アミロイド病理に対する予測精度は、Aβ42/40 (AUC=0.857) と比較して、p-tau181 と Aβ42/40 を組み合わせた指標で向上 (AUC=0.890) することが示された。</p> <p>結論</p> <p>Aβ42/40 の予測精度は、p-tau181 との組み合わせにより向上する可能性が示された。このように複数のバイオマーカーを活用することで、アルツハイマー病の検査における血液検査の有用性が高まると期待される。</p>
セッション	POSTER: THEME B (P0824 / #2855)